



広報

秋 田

平成4年（1992年）

6月15日

No. 686

（毎月1日・15日発行）

発行／秋田県五城目町

どじょうめ

6月7日 全町河川クリーンアップにて

主 な 内 容

- ・全町植樹祭 2
- ・生活雑排水対策モデル町に 3
- ・スポットニュース 4
- ・遺跡をたずねて 7

みんなでまもろう
豊かな自然！

ツツジなど 260本を植樹

森山荘で植樹祭



森山荘前で行われた全町植樹祭



1本1本ていねいに植樹する緑の少年団員たち

「育てよう未来を支える命の苗木」をテーマに、第三十回全町植樹祭が、五月二十九日、養護老人ホーム「森山荘」前を会場に開催されました。この植樹祭は、町と五城目営林署、五城目森林組合が、緑化推進の一環として毎年行っているものです。今年は町内外の関係者や、町内小・中学校の緑の少年団員など約二百五十人が参加しました。初めに佐藤町長が「豊かな緑を後世に引き継ぐため、一本一本ていねいに植樹しましょう」とあいさつ。続いて、緑の少年団作文コンクールの入賞者の表彰が行われました。この後、参加者たちは五城目営林署員の指導を受けながら、森山荘の周辺にツツジ、アジサイ、サルスベリの苗木

合わせて二百六十本を一本一本ていねいに植えました。

また、植樹祭の後、町民センターにおいて「守ります山の緑と防火のマナー」をテーマに、林野火災防止懇談会も開かれ、広報活動による山火事予防運動の展開、宣伝カーによる管内巡回、林内作業者に対する火気使用注意の徹底など、山火事予防対策の状況が報告されました。

なお、緑の少年団作文コンクールの入賞者は次のとおりです。（敬称略）

【小学校の部】

〈最優秀賞〉

五城目小六年 小玉知広

〈優秀賞〉

大川小六年 半田健志

馬場目小六年 川島智道

【中学校の部】

〈最優秀賞〉

五城目一中二年 草皆磨姫子

〈優秀賞〉

杉沢中二年 石川友美

五城目一中二年 佐藤絵里香

緑の少年団作文コンクール最優秀作品

（中学校の部）

『私の中の緑』

五城目第一中学校二年

草皆磨姫子



毎日のように自転車を通う緑の通学路。なんてすがすがしいのだろう。なんてすばらしい空気なんだろう。なぜ、こんな素敵な気分になれるのだろう。この「なぜ」をたどってみれば、そこには緑がある。私の住んでいる所は、四方が全て緑である。四季折々姿を見せてくれる山々。心やすらぐ、澄んだ空気を提供してくれる木々。実りの秋という思い浮かべられる水田。どれもがみな、緑をもっている。緑は、人間の心と体に大きなゆとりを与えてくれる。私は、このような環境に恵まれた所で生活できることを、誇りに思っている。私は、この緑を今一度、見直そうと思うのだ。私の身近にある緑も、このごろでは急速にその姿を消していつている。木を切り倒し、山を削り、自分に都合のいい

ようにしてしまおう人間たち。木を切つてはいけないと言っているのではない。失ってしまった緑の分、それ以上の緑を大切にしなければならぬのだ。木も生き物だし、木の尊い命をうばうからには、使う私たちも、大切に扱う心がけがなければ、木と人間の共存は成り立たないのではないだろうか。緑は、私たちの生活を守ってくれる。多くの人々から知られているように、木には洪水を防ぐ働きがある。では、なぜ木にそのような働きがあるのだろうか。森林の土の上には、たくさんの落葉がある。それが土と混ざり合い、良い土ができる。この土が水をしみこませる力は、固い歩道の二十倍もあるそうだ。また、木の根は、土の中に網のように張りめぐら

され、太い根も、くいのように深く入っていて山くずれを防いでいる。このような働きを考えれば、やはり緑を大切にしなければいけないことがわかる。小学生の時に緑の少年団キャンプに参加したことがある。そのとき私は、他校の友達と広大な自然の中で、緑について学んだ。私は植物班の一人として、登山をした。ここでは高山植物の減少について考えさせられた。緑を求めて、毎年やってくる登山者たち。この中の心ない人が、貴重な高山植物を持ち帰ってしまうのだそうだ。そして今では、すでに絶滅してしまい、増やす手だてのないものがほとんどだという。緑を本当に愛する人ならば、こんな残酷なことはいらないと思う。そして、このキャンプの最後に私たちは、植樹を行った。私の手で植えたあの木が、緑の危機にさらされている地球のために、ほんの少しでも役立つくれたらと思う。私のの中の緑とは、人間と同じ地球上の生き物であり、仲間でもある。この緑を強いきずなで結ばれている人間の手で守っていかなければならぬ。私がいつでもすがすがしい朝の気分を味わえるように。私たち人間が、遠い未来にわたって、緑と共存できるように。

生活雑排水対策モデル事業を

五城目町で実施

2000世帯で生活雑排水を調査

公共用水域の水質を浄化するためには、地域住民一人ひとりが自分たちの生活する周辺の側溝や排水路を清掃することが必要です。さらには、生活雑排水が水質汚濁の一因となっていることを認識し、台所から料理くずや食べ残しを流さないよう努めなければなりません。

町と県では、町内河川や八郎湖の水質を少しでも浄化し、きれいな水域を守るため、生活雑排水対策モデル事業を実施します。

水質の浄化は台所から

生活雑排水とは、台所からの米のとぎ汁、使用済み天ぷら油、食べ残し、また、洗濯入浴、洗面排水など各家庭から排水される水のことで

食品のよごれぐあい () 内の量をすてたら	魚が住める水質にする ために必要な水の量は 風呂おけ何杯分? (風呂おけ1杯300ℓ)
使用済みの天ぷら油 (500ml)	330杯分
おでん(500ml)	33杯分
牛乳(200ml)	10.4杯分
みそ汁(180ml)	4.4杯分
米のとぎ汁(3.5ℓ)	5.6杯分

一表2一

家庭でできる生活雑排水対策

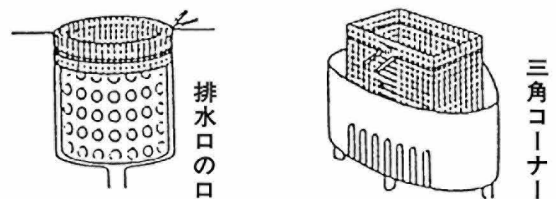
- 固形物は、目の細かいネット等を使って回収します。
- 油やソース等で汚れた食器は、紙で拭いてから洗います。
- 使い終わった食用油は、紙にしみこませゴミに出します。
- 米のとぎ汁は、分けて庭木などにかけます。
- 石けんや洗剤は、適量を計って使います。

2000世帯に実践活動の協力を依頼

町のモデル事業実践活動は一番町、古川町、紀久栄町と新町の一部の地区で行なわれます。各世帯には水切り袋を配付し、実践活動にご協力いただきたいと思います。

調査期間は、6月下旬から約100日間で、水切り袋の使用、アンケート調査、水質検査等にご協力いただき、水質の浄化を図り、水質の追跡調査を実施します。

水のネット こんな風に使います



約2,000人が
全町河川
クリーンアップ

クリーンアップ

六月七日午前五時から、町内河川および八郎湖のクリーンアップ作戦が行われました。当日は、町内会や青年会のみなさん約二千人が、町内の各河川から八郎湖岸にかけての約三十一km間の清掃や、護岸の草刈りを行いました。この日集められたあき缶などの燃えないゴミは、約十トン。また、燃えるゴミは灯油などを使ってその場で焼却されました。



馬城橋付近の護岸の草刈りを行うみなさん

五城目きやどっこまつり'92

ミスきやどっこ大募集

五城目きやどっこまつり'92実行委員会では、八月十五日・十六日に開催される「きやどっこまつり'92」のイメージガールとして、「ミスきやどっこ」を募集しています。

▽資格
満18歳・25歳(五城目町在住で当日、祭りに参加できる方)

▽応募方法
5名(入選者には当日、謝礼を差し上げます。)

▽締切
6月30日(火)

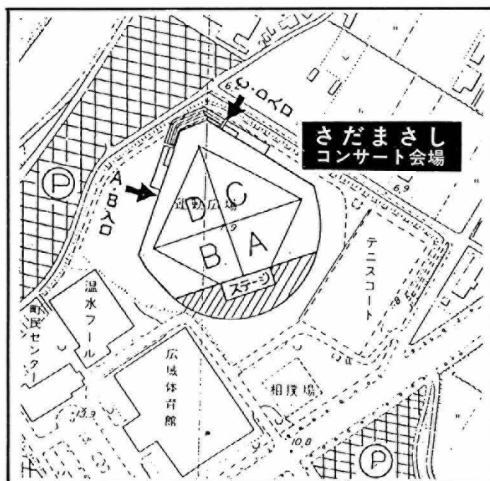
▽審査方法
五城目きやどっこまつり'92実行委員会が書類審査いたします。

▽入選者
顔写真、履歴書を添えて応募して下さい。

さだまさし野外コンサート

前売券好評発売中!!

きやどっこまつり'92の本祭(十六日)に行われる「さだまさし野外コンサート」の前席・A、Bブロックは残り少なくなりました。お早目にお求め下さい。



※ミスきやどっこ・さだまさし野外コンサートのお問い合わせは、五城目きやどっこまつり'92実行委員会事務局(役場内)
☎52-9800・52-5100(内線5293)へ

雨の中、全員が登頂

— 馬場目岳清掃登山 —



倒れたブナ林の中を
進む参加者たち

自然の大切さを知って
もらおうと、毎年春・秋
の二回行われている馬場
目岳清掃登山。今年も六
月五日、町内外から五十
四人が参加し行われまし
た。
午前八時、ごみ袋を手
にした参加者のみなさん
は、一列になって銀ノ沢
登山口をスタート、頂上
をめざしました。
ブナ原生林では、昨年
の台風十九号で倒れた樹
齢四百年程の巨木を前に
全員驚きの様子でした。
途中から雨が降り出し
たものの、十時半頃には
全員が元氣よく登りつめ
ました。

泥にまみれ田植え

— 内川小学校6年生のみなさん —



田植えに挑戦する児童たち

五月二十六日、内川小
学校の六年生十四人が、
学校田で田植えを行いま
した。これは、米の大切
さを子どもたちに知って
もらおうと毎年行われて
いるものです。
農協の職員から植え方
を教わった子どもたちは
はだしになって型取りを
し、田植えに挑戦。最初
は「気持ち悪い」などと
言っていた子どもたちは
泥に足をとられながらも
楽しそうに二・三本づつ
ていねいに植え付けてい
ました。
十月上旬には収穫され
もちつき大会などに使わ
れる予定です。

森山荘で歌や踊りを披露

— 五城目小学校1年生のみなさん —



マスゲームを披露する子どもたち

六月八日、五城目小学
校の一年生、十三人が老
人ホーム・森山荘を訪れ
歌などを披露しました。
これは、お年寄りを大
切にし思いやりの気持を
持てる、心豊かな人づく
りをめざし行われている
もの。
五十三人のお年寄りを
前に子どもたちは「私たち
の歌や踊りをご覧ください
い」と元気にあいさつ。続
いて歌「うたえバンバン」、
国語の本読み、マスゲーム
「いちごとレモンのパレー
ド」を披露。元氣いっぱい
の子どもたちの姿に、お
年寄りたちからは大きな
拍手が送られていました。

雀館公園に歓声響く

— 五城目幼稚園運動会 —



ゴールはもうすぐ「レッツゴー海底探検」

五城目幼稚園の運動会
が、六月七日、雀館公園
で開催されました。
この日は、朝から絶好
の運動会日和。伊藤園長
のあいさつ、運動会のう
たに続いて、園児たち全
員が「今日はばくたち私
たちの運動会です。転ん
でも泣きません」と元氣
よく誓いのことを述べ
ました。
この後競技に入り、三
十メートル走やおゆうぎ
大玉ころがし、綱ひきな
ど汗だくになりながら頑
張る園児たちの姿に、父
母やおじいさんおばあさ
んから、さかなな声援と
拍手が送られていました。

快感!! スポーティフェア

小型車の価格革命だ。

¥698,000
CULTUS 1000



スズキサマーキャンペーン
7月31日まで好評開催中!



スポーティ・マインド満点プレゼント



エンジョイ・スポーツ満タンプレゼント

有佐藤自動車整備工場

南秋田郡五城目町一番町 ☎(0188)52 2059

岩野チームが優勝 町内対抗卓球大会



優勝した岩野チームのみなさん

五月三十一日、広域体育館で行われた町内対抗卓球大会には、十九の町内会が参加、熱戦が展開されました。その結果、岩野チームが優勝を飾りました。成績は次のとおりです。

- ・優勝 岩野町内会
- ・準優勝 高千町内会
- ・三位 米沢町町内会
- ・四位 北々口町内会

町内対抗 総合成績 岩野がトップ

町内対抗卓球大会の終了により、前期トップだった黒土町内会が二位に、前期三位の岩野町内会がトップに躍り出ました。各町内会とも総合優勝めざし頑張ってきた。卓球大会終了時点での成績は次のとおり。

- ①岩野(74) ②黒土(73)
- ③町村(69) ④下高崎(48)
- ⑤富田(47) ⑥館越(46)
- ⑦野田(45) ⑧八田(45)
- ⑨湯ノ又(43) ⑩高千(43)

五一中男女が 団体総合準優勝

六月七日、広域体育館で行われた、第二十一回秋田県中学校春季体操競技大会に本町から五城目第一中学校が出場、男女両チームが、共に団体総合優勝を飾りました。

個人総合では、遠藤司さんと長谷川陽子さんがそれぞれ六位に入賞。また、種目別の跳馬では、遠藤司さんが一位に、また石井信好さんが二位に入賞しました。

大川小が優勝 町内小学校野球大会

六月七日、五城目小学校グラウンドを会場に、町内小学校野球大会が行われました。成績は次のとおりです。

- ・優勝 大川小学校
- ・二位 五城目小学校
- ・三位 内川小学校

秋田県青年大会 体育の部参加者募集

町教育委員会では、社会教育・文化・スポーツ活動の振興のため、学校教育に支障のない範囲で、学校施設設備を一般住民に開放します。利用する団体は登録が必要です。

▽開放校

五城目小学校、大川小学校、富津内小学校、内川小学校、馬場目小学校、杉沢小中学校、五城目第一中学校

▽開放施設

体育館、グラウンド、野球場、その他
▽利用時間
学校教育、クラブ活動に支障のない範囲

▽登録申請方法および期間

利用許可申し込み書は、中央公民館にあります。必要事項をご記入のうえ、7月31日(金)まで中央公民館へ提出して下さい。

学校開放登録 申請について

五城目町連合青年会では、秋田県青年大会・体育の部の選手を募集しています。

▽対象 五城目町町民、年齢は18歳～35歳
▽種目 陸上競技、バスケットボール(男・女)、バレーボール(男・女)相撲、柔道、ソフトボール(女)、剣道、卓球、バドミントン、軟式野球の10種目

▽開催日 8月22日～24日
▽会場 雄和町、秋田市
▽申し込み・問い合わせ先 中央公民館 ☎52-4415

久保市恒太君が準優勝

秋田県空手道選手権大会

五月二十四日、秋田市のNTT体育館で行われた、第二十一回秋田県空手道選手権大会において、久保市恒太君(米沢町・五小二年)が小学校一・二年組手の部で、みごと準優勝を飾りました。



準優勝の賞状とトロフィーを手にする恒太君

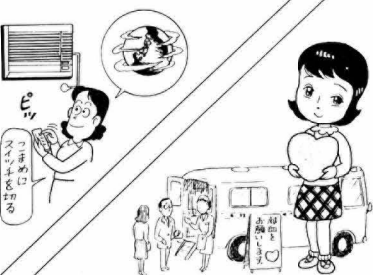
恒太君が空手をやってみたいと思ったのは昨年の四月。テレビやマンガで「型の空手、剛柔流」を見てすっかりとりに。両親に相談し、井川町ス

ボーツ少年団の空手道に入部することができました。練習日は毎週水・金曜日の夜。好きで始めただけあって一日も休まず通い、三・四年生を相手に練習を重ね、腕はめきめき上達。入部一年目、初めての大会出場で準優勝することができました。

恒太君は「とてもうれしいです。トロフィーや賞状ももらったのは初めて。今は緑帯(7級)ですが、黒帯(初段)をめざし頑張ります」と喜びを語ってくれました。また、お母さんの敏子さんは「最初の試合の時は見ていられませんでした。これからはケガのないよう一生懸命頑張ってください」と話していました。

省エネは未来の子供へのおくりもの
地球に対する思いやり

夏の省エネルギー



あなたの真心を
待っている人がいます

愛の血液助け合い運動(七月一～三十一日)

新製品(ミニドリンク) アルフェ

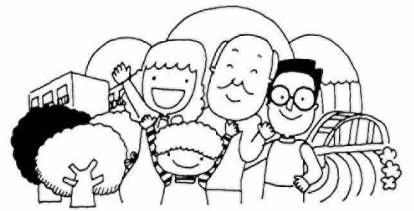


鉄分不足による女性特有の疲れやすい体の不調にまずこの1本!!

五城目
中央薬局

五城目町下夕町朝市通り ☎52-3217

お知らせコーナー



神明前公営住宅 入居者募集

▽場所 五城目町字神明前95

▽募集戸数 3

▽家賃月額 木造平屋建1戸 1万5千円

▽募集期間 6月15日～25日

▽入居予定日 7月1日

▽申し込み・問い合わせ先 役場建設課 ☎52-5252

稚鯉の注文を受付

▽種類 普通鯉、観賞用錦鯉

▽規格・価格

・普通鯉(1袋単位)

3.0～4.5センチ 1尾4円

(1袋 500尾)

弓道場・矢づくり

18日NHKふるネットで紹介

五城目町の弓道場と矢づくりの様子が、六月十八日(木)午後六時三十分から、NHK「ふるさとネットワーク」で放映されます。

雀館公園弓道場での練習風景のほか、スタジオには御矢師の永沢則明さん(築地町)が出演します。

町民のみなさん、どうぞご覧下さい。

「きやどっこおんど」

踊り講習会を開催

中央公民館では、「きやどっこおんど」踊り講習会への参加者を募集しています。みなさんお誘い合わせの上参加して下さい。日程等は次のとおり。

▽期日 6月/29日、7月/13日、20日、27日、8月/3日

▽時間 午後7時～9時

▽会場 広域体育館

※本番は、8月15日・16日に行われる「きやどっこまつり」です。

高等学校

奨学生募集

日本育英会では高等学校奨学生を募集しています。

【貸与月額】

- ・公立高校 12、000円
- ・私立高校 24、000円
- ・国立工専 15、000円
- ・高等専門学校は授業料減免制度との併用もできます。
- ・奨学金は銀行の口座振込により交付し、返還は卒業後約十年の年賦償還です。

また、中学三年生を対象に高校・工専奨学生の予約募集もしています。詳細については在学する学校か日本育英会秋田県支部 ☎60-3553へ。

自動車の納期限は6月30日です

今年の自動車の納期限は6月30日です。忘れずに最寄りの金融機関で納付しましょう。なお、自動車をお持ちの方で、まだ納税通知書が届いていない方は、秋田県税事務所納税課 ☎60-3332へご連絡下さい。

求人情報

募集先

秋田末広繊維株式会社(上山内) ☎52-4151

・男子社員 2名 18～25歳

・随時受け付けておりますので、履歴書持参の上で来社下さい。

市神祭

6月20日・21日開催
会場は上町通り

五城目町・市神祭が、六月二十日、二十一日の両日、上町通りを会場に開かれます。

この祭は、生活市として今日まで約五百年続いている「五城目朝市」に感謝するとともに、市神祭を町民の心のシンボルとして町外の人々にもアピールし、朝市の素晴らしさを体験してもらおうと、商工会青年部・婦人部が中心となって毎年実施しているものです。内容は次のとおり。

【20日】

- ・朝市 7時～12時
- ・だまこもち 11時～
- ・五小音楽演奏 14時～
- ・山王社奉納相撲大会 14時～(高性寺境内)
- ・大綱引き大会 16時30分～

- ・(上町・下町対抗) 20時～
- ・もちつき大会 18時～
- ・交通安全映画大会 19時～
- ・【21日】
- ・番楽 10時30分～
- ・天翔太鼓 11時～
- ・大綱引き大会 正午～(一般参加)

※このほか、朝市パネル展、五城目物産展、盆栽展、植木御みこし、抽せん会が両日行われます。

期間中は、上町通りが歩行者天国となるため車の乗り入れはできません。バスの運行は下町通り経由となります。なお、朝市出店者以外の露店の方は出店できません。問い合わせは、五城目町商工会 ☎52-3460へ。



昨年行われた市神祭

テレホン広報
ごじょうめの
ご案内

	日	土	金	木	水	火	月
6/15～21	身近な運動施設 “五城目屋内温水プール”						
22～28	暮らしのワンポイント “汗じみの予防ととり方”						
29～7/5	国の行政機関などの土曜閉庁						

土曜日が休みになることで支障をきたさないように配慮

今回は、土曜閉庁についてお送りします。



行政機関も
お休みね

テレホン広報「ごじょうめ」

52-4141

遺跡をたずねて

<6>

中山遺跡 その6

縄文時代の祭祀

縄文時代の遺跡から、土偶や石棒・土器・木器といった祭祀を目的にした遺物の出土品が多いことから、縄文人は盛んに祭祀を行っていたにちがいありません。

中山遺跡からも、祭りなどに使用した道具が発見され、祭祀の性格の強い遺跡であることが判明しています。

遺物の中には、赤い漆やベシグで文様をつけ、祭りの際に供物を入れた土器。また、日常、縄文人が狩猟に使った

弓は、何の飾りもないのが普通でしたが、中山から出土した柳の木で作られた飾り弓は、赤や黒の漆が幾重にも塗られ、樺の皮が巻きつけられていて、狩猟儀礼の時に使用していたと考えられます。

他にも驚くほど精巧な漆工芸品が多く出土し、貴重な遺跡であることが全国的に注目されています。

おそらく縄文人の祭りは、祖先や死者への祈り、動物や魚などの豊かな恵みを願う祭

り、病気や天災などを除く呪いといったさまざまなものであったのでしょう。

よくテレビなどでは祭りの時に面をつけている姿が映っていますが、縄文人も土面を祭りの道具としていたようです。各地の遺跡から土面が出土していて、その顔は、親しげな顔、若々しい顔、悲しい顔、怖そうな顔など、さまざまな顔をし、祭りの目的はどうかであれ縄文人の共通の願いを込め人々の心を一つにし、祭りをよりあげる大切な道具となっていたのです。

また、いくつかの集落が共同で行い、祭りを機会に物資の交流や、技術を伝えていく役割も果たしていたと思われる。縄文人も、誕生・成人・結婚・死という人生の節目を大事な通過儀礼とする風習が縄文時代の生活の中で確立していました。

祭りと酒はつきものですが、関東地方の遺跡から、酒を醸造した土器や、今日の徳利と猪口にそっくりの土器が出土していて、やはり現代と同じく酒が祭りの席をにぎわしたのだでしょう。

縄文時代にとって、山や川で獲物を追うのと同じように、祭祀も生きていくための大切な行為だったのです。(今回は「縄文時代の海と川の幸」)

町教育委員会社会教育課

中山遺跡の発掘現場



ヤマビルに注意を

といわれています。

入山するときの注意

ヤマビルは、山間部の湿地の植物や落葉、岩屑などの陰に生息していて、動物の吐く二酸化炭素等に反応して行動し、動物から吸血する、体長約一〇〜三〇ミリの細長い円柱形の伸縮自在の動物です。

活動時期は五月〜十月頃で、活発なシャクトリムシ状のほふく運動と首振り運動をします。

生息地は、上小阿仁村萩形ダム西側の上沢、本町阿仁又沢・大倉又沢・北ノ又・上沢、井川町大又沢・田代沢・大沢、白山、秋田市白山・小又・中ノ又など広範囲に及んでいる

▽ヤマビルは、降雨中あるいは雨後に活動が活発になるので、極力入山を控えて下さい。

▽ヤマビルの吸血被害は、足、手、首、頭部に多いので、入山する際には、これらの部分を露出しないよう、また、身体に潜り込まないよう工夫して下さい。忌避方法は、着衣に塩、木酢液などを塗布するのが効果的といわれています。

▽吸血された場合は、出血が多く、なかなか血が止まらなくなるので、清水などで洗い流し、抗ヒスタミン剤を塗布して、かゆみを抑えて下さい。

善意



善意

▽6月2日、一番町の本間ヨシさんから五城目小学校へ、長なわとび20本が寄贈されました。



善意

・5月12日
1万7,605円

仲町 大村克己
(平成3年度五城目町定市場家主交付金を寄付したもの)

・5月25日

カラプリント **30分** 仕上げ
イトウカメラ
伊藤写真館
新畑町(ガーデン松竹向い) ☎52-3667

氷を入れて 夏風味
馬場目川清流
お菓子の **しば友**
五城目町古川町 ☎52-3238

輸入オイル取扱いたしました。
BP Agip TOTAL
●おまかせしませんオイルチェンジ。
湖東商事
五城目町大川国道7号線添い ☎75-3550・4317

少年の日標語 見ていたよ 君のしたこと 君の目か

